

第15回日本外来小児科学会年次集会のご案内

第15回日本外来小児科学会年次集会を2005年8月20日（土）、21日（日）に大阪国際会議場（大阪市）で開催いたしますので、ご案内申し上げます。

今回のメインテーマは、わが国における外来小児科学研究の更なる発展を願って

「科学する外来小児科 – 日常診療の中でのリサーチをもっと進めよう –」

といたしました。

現場でのリサーチをもっと進めよう！ このことを小児の外来医療に携わるすべての皆様へ呼びかけて、外来小児科学研究の裾野を拡げ、活性化する動きにつなげたいと考えました。日常診療や日常疾患についての研究を進めることは「診療の質の向上」に結びつき、さらに「外来医療に携わる人たちのアイデンティティの高揚」にも役立ちます。もちろん研究活動は学会の大きな柱であり、活発な研究活動なくして学会の発展はありません。

(1) 年次集会の企画と運営に当たっては、研究成果の発表である一般演題を重視し、その充実を最重点項目としました。二日間とも午後の前半に一般演題口演の時間をとり、閉会時に優秀演題を選び表彰を行います。演題の募集期間は来年2月～4月を予定していますので、それまでにぜひご準備いただき、多くの方が応募されることを切望いたします。

(2) ワークショップは、「他人の話を聞くだけでなく、自ら発言すること」を主旨とする本学会の伝統あるメインイベントです。今回はその中で何か一つリサーチを行っていただくように要望いたします。新たな視点からのテーマの提案を歓迎いたします。

(3) 講演やシンポジウムも、リサーチを振興し日常診療に役立つものを企画しています。

近畿地区を中心に30数名の会員で実行委員会を組織し、「緒方洪庵の適塾があった町、大阪で、外来小児科学三昧の二日間を」と準備を進めています。

年次集会には、会員、会員でない方、医師、コメディカル、学生を問わず、どなたでもご参加いただけます。皆様のご参加を心からお待ち申し上げます。

2004年10月20日

第15回日本外来小児科学会
会長 絹 巻 宏

〈年次集会事務局〉 くまがいこどもクリニック 熊谷直樹 FAX:06-6498-2854 E-mail:DZF04443@nifty.com

〈年次集会ホームページ〉 <http://www.kodomo.co.jp/sagpj-15/>

〈日本外来小児科学会の概要〉 本学会は「小児の総合医療と外来医療に関する研究と教育を促し、もって小児医療の向上をはかること」を目的に掲げ、1991年に日本外来小児科学研究会として発足しました。1993年に日本小児科学会の分科会として承認され、その後の規模の拡大と内容の充実に伴い、1999年に学会へと名称を変更しています。小児科医を中心とする1700余名の会員を擁し、6つの部会（研究、教育、診療、社会活動、情報、運営）のもとで、各種の委員会、検討会、勉強会など日常活動を行い、年次集会を年1回開催しています。